

藤枝市と静岡理工科大

駅前にも官学新拠点

連携協定

藤枝市×学校法人静岡理工科大学 包括連携協定 締結式



協定書に署名を交わした橋本新平理事長(左)と北村正平市長11日午前、藤枝市役所

藤枝市と静岡理工科大グループ(本部・静岡市葵区)は9日、包括連携協定を締結した。2020年度内にJ・R藤枝駅前に官学による新たな拠点の形成を目指す。

市の施策と連動したフィールド学習を推進し、同大の理工系技術や情報通信技術(ICT)などの専門性を生かして地域産業のイノベーションや高度人材の育成を図る。社会人が学び直す「リカレント教育」にも力を入れる。

新たな拠点は、静岡

産業大の藤枝駅前キャンパスや大正大(東京都)の藤枝サテライトキャンパスが入る駅前の商業施設「Bivi藤枝」の活用を想定している。

市役所での締結式で北村正平市長と橋本新平理事長が協定書に署名した。

北村市長は「大が持つ理工系技術を生かし、若者を中心とした幅広い世代が学ぶ環境づくりを進める」と意気込み、橋本理事長は「市とともにイノベーションを創出し地域が発展することを願う」と述べた。

同グループは静岡理工科大(袋井市)を中心に、中学・高校4校、専門学校6校、日本語学校2校で構成。藤枝市はこれまでに県内外の6大学と包括連携協定を結んでいる。

(藤枝支局・寺田将人)